

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもアシスト「ぼの」笠岡教室		
○保護者評価実施期間	2026年 1月 28日		2026年 2月 14日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○従業者評価実施期間	2026年 1月 28日		2026年 2月 14日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 14日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	こどもの事をよく理解し、ニーズや課題に沿った個別支援計画を作ることが出来ている。	こどものことを理解し適した目標を設定することができるよう、意識して支援を行っている。また、都度作成する際に目標が逸れないよう保護者の方に向き合い聞き取り等をしっかりと行っている。	こどもの情報を多く持っている職員や、保護者のニーズなどを定期的に聞き取り把握し、都度情報を更新し適切な支援を行えるよう意識していく。
2	より良い支援を提供することができる空間を設定できるよう意識している。	学習に対する支援だけでなく5領域に即した活動を行う際にも、それぞれのこども達に負担のないようレイアウトを考え、臨機応変に対応できるよう職員間で共有している。	教室内のレイアウトのみでなく、使用する物品や教室内の環境を整えていくことでよりこども達に沿った支援を行っていく。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	近隣の児童館や放課後児童クラブとの交流がなく、地域のこども達と関わり活動する機会を持つことが出来ていない。	1日に1時間の利用であるため、外部と関わる機会を設定することが難しい。また、学習支援を主としているため、利用されている保護者のニーズも学習に寄っている。	外部のイベント等に参加できる機会があれば、参加を検討していく。保護者の方たちにも、イベント等で得られる経験や力をお知らせし、前向きに検討してもらえるよう働きかける。
2	保護者同士の交流する場・機会が少ない。	保護者会等を開催したことがなく、機会を設けることが出来ていない。特別教室では、保護者の見学も可能であるが、全体にお知らせできていない。	特別教室実施の際は、保護者の見学が可能であることを全体にお知らせする。個々のフィードバック時などで、保護者会等の需要を確認、必要があれば実施してもよいか。
3			